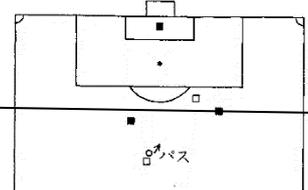


実技12, 「じゃまじゃまサッカー8」 ハーフコートでのオフサイド学習②

前回に続いてオフサイド学習です。オフサイドラインはディフェンスの最終プレイヤーになります。

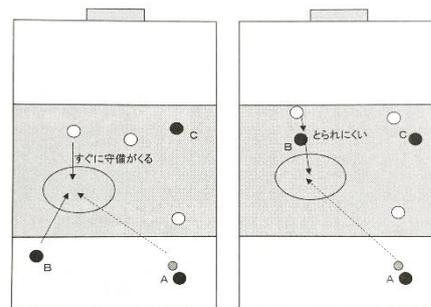
(1) オフサイドとは

「オフサイド・ポジション」とは、①相手陣内にいる。②ボールより前にいる。③相手の後ろから二番目の選手よりも、相手ゴールラインに近い位置にいます。たいていの場合は、ゴールキーパーがゴールについているから、守備側の一番後ろの選手より前に出た状態であれば、「オフサイド・ポジション」にいます。この場合、「オフサイド」の反則になります。①プレーに干渉する。②相手選手に干渉する。③その位置にいることによって利益を得る。ことで、「オフサイド・ポジション」にいますだけでは、反則にはなりません。



ポストプレー バックパスの有効性

スルーパスを出す際、シュートゾーンでスルーパスを受けられることは難しく、多くの場合はじゃまゾーンでパスを受けることが多くなる。左図のようにディフェンスと対面して受けるのは難しい。ここでBに期待したいプレーは、右図のように、守備に背を向けてボールをコントロールすることである。くさびを受けるポストプレーで、ここを起点としてAがバックパスを受け、じゃまゾーン突破のCにパスを出す。Aは前を向いたままパスを受けられるので、全体を見渡すことができ、状況に応じた多彩なプレーが可能になる。



(2) サッカーゴール、マーカー、コーンの用意

- 各グループでの準備運動、感覚づくり。
- パス出しの練習

(3) 「じゃまじゃまサッカー4」 3:3+キーパー

じゃまゾーンがゴールラインまでとなる。

【攻め】 3人での攻め (プレイごとに順次ローテーション)

- スタートラインに3人が並びプレイの開始。
- スタートゾーンやじゃまゾーンからのパス出し (「誰がどこで」を予め決めておく)
- プレイが終わったら次の攻めに。「オフサイド」の場合も次の3人の攻めになる。

●パスを出した時にシュートゾーンにいたら⇒オフサイド

○パスを出した時にオフサイドラインより手前で、ディフェンスの後ろでパスもらう⇒オフサイドではない

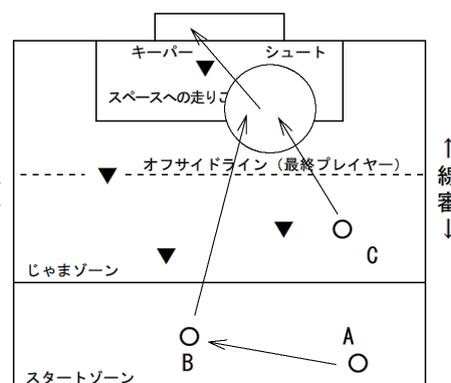
- プレイが終わったら次の攻めに。「オフサイド」の場合も次の3人の攻めになる。

【守り】

- じゃまゾーン内で動く。
- スペースへのスルーパスを防ぐ。
- コートの外へ蹴り出す、キーパーがボールを捕る 攻めがゴールラインを割る。⇒攻撃は終わる。
- キーパーはペナルティーエリアで手を使うことができる。

【線審】

- オフサイドラインに立ち、オフサイドの判定。最終プレイヤーと共に移動。
- オフサイドの判定 「オフサイド」のホイッスル。



試合	1コート	2コート	映像記録
1	4 対 1 = 対 線審 (黒木) ノート (前田)	2 対 3 = 対 線審 (村上) ノート (田中)	5班 小林
2	2 対 5 = 対 線審 (棚橋) (石井) ノート (山田) (川崎)	残り全員で見学	3班 木村

(4) 授業の振り返りをする。